第５次千葉市生涯学習推進計画について

資料３

１　策定の趣旨

○生涯学習とは、自己の充実・啓発や生活の向上等のために生涯にわたり学習を続けていくことであり、さらに、その成果を地域や社会に還元していくことが期待されている。

その推進主体は、家庭をはじめ、学校、地域、民間企業、各種団体等、非常に広範多岐にわたる。また、地域コミュニティの希薄化や地域課題の高度化・多様化などを踏まえ、生涯学習の推進に際し、行政の担うべき役割や範囲は変化しており、本市においても同様である。

そこで、本市全体で生涯学習を推進する上で、行政の行うべき意義、役割、対象範囲等を明確にした上で、現代の課題並びに第４次推進計画で十分には対応できなかった課題等に計画的かつ効果的に対応するため「第５次千葉市生涯学習推進計画」を策定する。

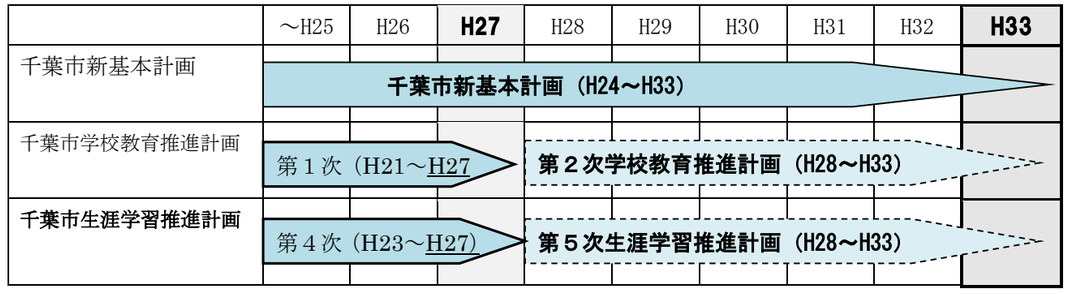
２　計画の位置づけ

○千葉市のまちづくりに関する総合計画「千葉市新基本計画」の生涯学習に関する施策を具体化するための個別計画とする。

○次期「千葉市学校教育推進計画」とあわせて、本市の教育行政を推進とするための両輪とする。

３　計画期間

○「千葉市新基本計画」との整合を図るため、平成２８年度～３３年度（６年間）とする。



４　計画事業の範囲

○教育委員会で所掌する社会教育に係る事業等を中心とし、市長部局の事業についても、「対象」「目的」「性質」等を総合的に勘案した上で対象とする。

５　計画の構成

○計画策定の趣旨　○現状と課題　○計画の目標、方向性、施策及び事業体系

６　計画の評価

○各年度の取組結果を次年度に反映させるとともに、計画期間全体で高い成果が得られるよう成果指標を中心（一部活動指標）に、適切に設定し進行管理を行う。

７　市民意識調査の実施

○第４次計画の成果及び課題を把握するとともに、第５次計画に市民ニーズ等を反映させるため、下記の通り市民意識調査等を実施する。

○平成２６年度　市民意識調査（アンケート）の実施方法

	個人向け	学習団体向け
実施方法	インターネットモニターアンケート	施設窓口で直接依頼
調査対象	◇市内居住　１５歳以上 ◇個人　３，７００人程度	◇公民館等利用サークル ◇学習団体数　５００団体程度

８　今後のスケジュール（案）

年度	計画策定	審議会
２５		２月　第１回審議会 （次期計画の策定について）
２６	５月　ｱﾝｹｰﾄ項目検討 ７月　ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾓﾆﾀｰｱﾝｹｰﾄ等実施 ８月～　ｱﾝｹｰﾄ集計・分析 １０月　次期計画素案作成	６月　第１回審議会 （ｱﾝｹｰﾄ調査の実施案について） （次期計画の骨格について） １月　第２回審議会 （次期計画の原案について）
２７	８月　庁内意思決定 １０月　審議会へ諮問 １月　ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸｺﾒﾝﾄ ３月　策定	６月　第１回審議会について （次期計画の素案について） １０月　第２回審議会 （次期計画について（諮問）） １２月　第３回審議会 （次期計画について（答申））